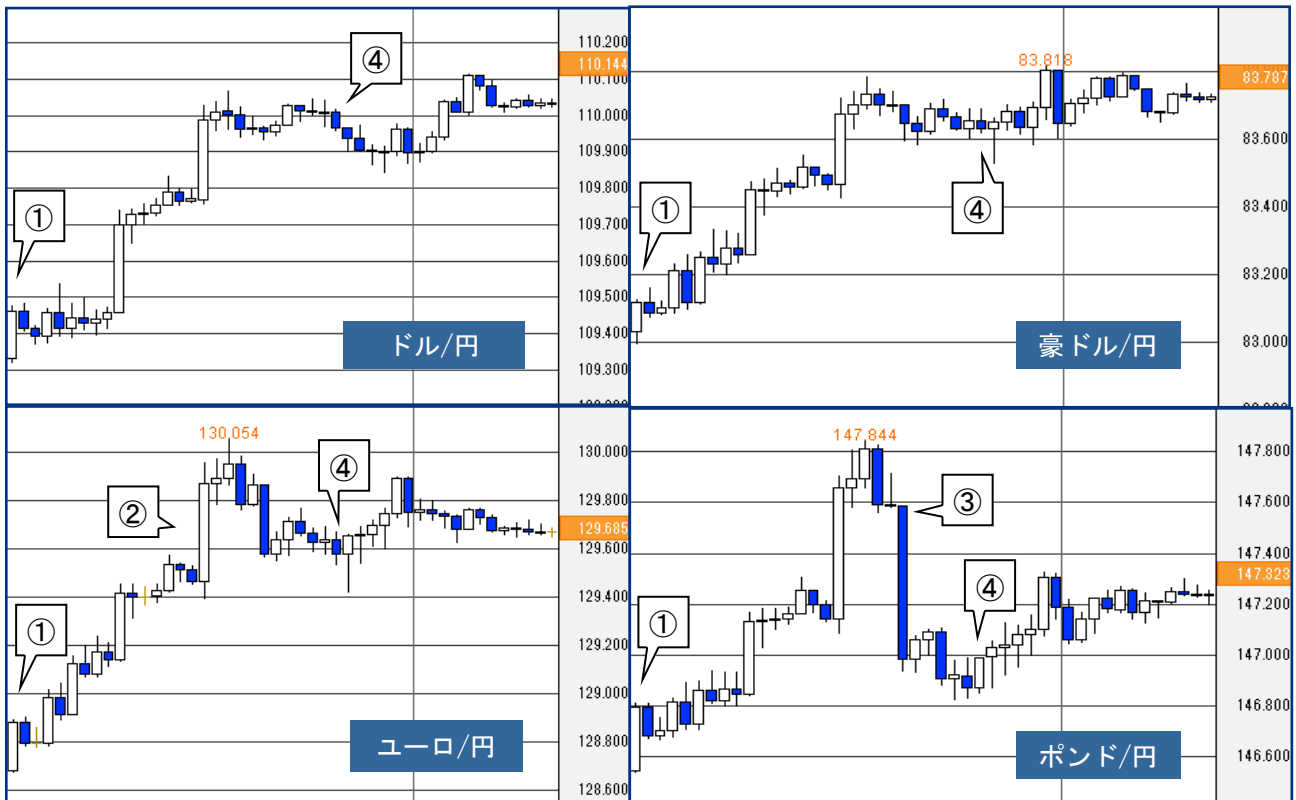


6月12日(火曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 政治リスクへの感応度低下

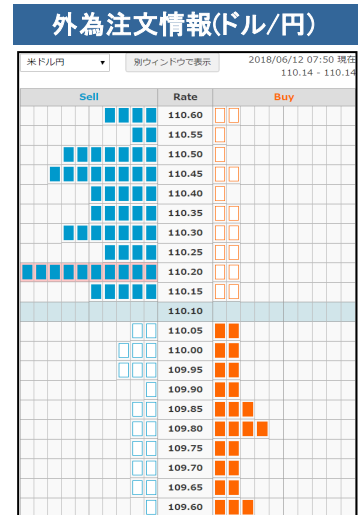
### 11日(月)の為替相場



期間：11日(月)午前7時00分～12日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 前週末のG7首脳会議(サミット)後に、トランプ米大統領が共同声明の承認を拒否した事から貿易戦争激化への懸念が高まる中、円が全面的に上昇して週明けの取引がスタート。なお、ドル/円は東京市場オープン前のオセアニア市場で一時109.20円台まで下落した。
- ② イタリアのトリア経済・財務相が前週末の伊日刊紙とのインタビューで「イタリアがユーロ圏を離脱するという議論はない。政権全体のはっきりした方針だ」と明言した事を受けて、同国の株式と国債価格が上昇する中、ユーロ買いが強まった。
- ③ 英4月鉱工業生産は前月比-0.8%と、市場予想(+0.1%)に反して減少。英4月貿易収支も140.35億ポンドの赤字となり、赤字額は市場予想(113.00億ポンド)を上回った。ユーロにつれ高していたポンドはこれらを受けて急落した。
- ④ ポンペオ米務長官は、北朝鮮に対して「非核化実現まで制裁を維持する」とした上で、「非核化は、北朝鮮にとって悪い結末をもたらすものではないどころか、その正反対で、北朝鮮の人々のため明るくより良い未来に導くものであると北側が安心感を得られるよう、十分な確実性を提示するための行動を起こすつもりだ」と述べた。これを受けて翌日の米朝首脳会談に対する楽観的な見方が広がった。

11日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22804.04 △109.54	休場	3052.783 ▼14.365	7737.43 △56.36	12842.91 △76.36
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25322.31 △5.78	0.0490% △0.0020	休場	1.407% △0.019	0.493% △0.045
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5202% △0.0225	2.9516% △0.0055	66.10 △0.36	1303.20 △0.50	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.600-110.900	129.300-130.700	83.400-84.400	146.900-148.400

【ドル/円】

昨日のドル/円は、G7首脳会議(サミット)の不調を嫌気して109円台前半まで売りが先行したが、その後は一転して110.10円台まで買われるなど、やや意外な展開となった。「政治リスク」に対する感応度が低下している模様で、本日の米朝首脳会談についても、(よほどのアクシデントがない限り)市場がネガティブな反応を示す可能性は低いのかもしれない。なお、トランプ米大統領は今朝方に「米朝のスタッフレベル協議は上手くいっている」とツイートしている。首脳会談終了後は、明日の米連邦公開市場委員会(FOMC)へと急速に関心が移ると見られ、ドル/円は底堅く推移しそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/12(火)	10:00	◎	米朝首脳会談(シンガポール)	-	-
	10:30		(豪) 5月NAB企業信頼感	10	-
	10:30		(豪) 4月住宅ローン貸出(前月比)	-2.2%	-1.8%
	17:00	◎	トランプ米大統領記者会見(シンガポール)	-	-
	17:30		(英) 5月失業者数	+3.12万人	-
	17:30		(英) 5月失業率	2.5%	-
	17:30	◎	(英) 2-4月週平均賃金(前年比)	+2.6%	+2.5%
	18:00	○	(独) 6月ZEW景気期待指数	-8.2	-14.0
	21:30	◎	(米) 5月消費者物価指数(前月比)	+0.2%	+0.2%
	21:30	◎	(米) 5月消費者物価指数(前年比)	+2.5%	+2.8%
	21:30	◎	(米) 5月消費者物価指数(コア:前年比)	+2.1%	+2.2%
	26:00		(米) 30年債入札(140億ドル)	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。